

## つくば学園ロータリークラブ



TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 25th year since 1986

## 4月14日(木) 例会報告



## 例会報告

## 幹事報告

臨時理事会報告 皆葉真治幹事

職業奉仕卓話 増山 栄会員

## 報告依頼事項

災害支援復興事業について 東郷治久会員

## 幹事報告

## 皆葉真治幹事

## 臨時理事会報告

1. 役員候補者選出の件  
副会長候補者 中山正巳会員・東郷治久会員
2. 退会者の取扱の件  
伊勢一則会員
3. 災害支援復興事業の件  
筑波大学義援金へつくば学園ロータリー基金から  
100万円を支出します。  
山田信博学長を5月12日例会に招待し贈呈式を行います。
4. 米山奨学生交通費の件  
4月21日奨学生を招待し、交通費5,000円/月を国際交流予算より3ヶ月分支出します。
5. 創立25周年の件  
記念例会の件 口座を開設して特別会計から支出し予算を計上します。  
5月12日に記念例会として開催します。  
ピンクリボン支援の件 記念事業として5万円を贈呈します。  
AEDメンテナンスの件 警察とクラブの物のみメンテナンスが必要となります。
6. 役員選出の件  
副幹事 大里喜彦会員・国際奉仕委員長 倉持武久会員・新世代奉仕委員長 佐藤裕光会員
7. 個人寄付金の件 4月21日例会より受付にて開始します。



## 幹事報告

1. 山崎清司ガバナー 第2820地区の義援金として茨城県に500万円を贈呈しました。
2. ガバナー会 全国義援金から第2,820地区に対して1,000万円を贈呈しました。
3. 京都山城RC お見舞いのお手紙をいただいております。内容は次頁をご覧ください。



## 報告依頼事項



支援事業を報告する東郷治久会員

### 災害支援復興事業の報告をする東郷治久会員

川崎庄一会長より東郷久治会員と齊藤修一会員の両名に東日本大震災の支援に対する委員会の設立が依頼されました。以下は東郷治久会員による報告の内容です。

川崎庄一会長より東日本大震災に対する支援委員会の設立を依頼されまして、私（東郷久治会員）が委員長、齊藤修一会員が副委員長でお引き受けいたしました。

結論から申し上げますと筑波大学から依頼がありまして義援金を差し上げることといたしました。これは筑波大学では留学生や被災地の学生が多く、実際に被害を被った方が多数いらっしゃるということで、その方々に

少しでもお役にたてればということでつくば学園RCから100万円をその基金に寄贈するという事で理事会で承認をいただきました。

議論はいろいろと出ました。私どもの会員でも直接的または間接的に被害に遭われておりますし、大学は筑波大学以外にもありますし、農家の方や漁業関係者の方々も被害に遭われております。その中で今回は名誉会員でもある山田信博学長からの強い要請もありましたので、支援金を寄付させていただくことに決まりました。

財源は留学生を援助するためにつくば学園RCとして積み立てていたロータリー基金から拠出させていただきます。皆様方のご承認をいただければと思います。

ここで会員の皆様から賛成多数を持ちまして可決承認いただき、つくば大学の被災学生に対する基金に100万円を寄贈することが決まりました。ありがとうございました。



写真中央が  
井川正紘京都山城RC会長です。

### 京都山城RCからのお見舞いのお手紙

つくば学園RC会長川崎庄様・会員ご家族の皆様

前略 つくば学園RC会員の皆様におかれましては東日本大震災をまじかに経験され、その影響も大きく体験されておられます。貴ロータリークラブの会員、関係者の皆様の被災状況はいかがでしょうか？直接被害が無くても品不足、人手不足、放射能被害、風評被害など大きな影響があることと思われれます。また、地区大会の中止や、貴ロータリークラブの25周年記念式典の延期など、予定の事業の変更を余儀なくされておられるようです。

つくば学園ロータリークラブと京都山城ロータリークラブは姉妹クラブであります。私たちは、東北地方への支援はもとより、姉妹クラブへの協力も惜しみません。ご支援できることが

あればお申し出ください。この震災の危機は日本人全体の危機であり、日本中が協力して立ち向かわなければなりません。またお会いできる日を楽しみにつくば学園ロータリークラブの繁栄をお祈りし先ずは書面にてお見舞い申し上げます。 草々

京都山城RC会長 井川正紘



## 職業奉仕卓話①



職業奉仕卓話をする増山栄会員

### 職業奉仕卓話

増山 栄会員

震災から1ヶ月を経過しても余震が続いております。被害もかなり広範囲にわたっております。土浦も軟弱な地盤の上に作られた都市でございますので、いたるところで液状化や老朽化による被害が見受けられます。3月13日からは土浦市役所で応急危険度判定を行っていましたが、4月に入りましてからは住宅相談を行っております。多い日ですと1日20名くらいいらっしゃいます。被害の状況はまちまちです。ただし被害の軽微な方でも今までに経験したことのない規模での地震でしたので心配して相談に来られます。特につくば・土浦地区は茨城県の中でも長周期振動つまり揺れが大きく長時間にわたる地震を受けております。これは地表を伝わってくるタイプでエネルギーの大きい地震だったことを意味しております。特に4、5階建ての中層建物が大きな影響を受けました。住宅も亀裂が発生したりタイルが割れたり瓦はいたるところで落ちております。そういう被害を今まで受けたことがありませんでしたので、専門家がみると問題のない被害でも非常に心配されて相談にいらっしゃいます。

またこういう時期にはいろいろと悪い方が出てきます。例えば屋根や外壁を見てすぐ直さないと危険ですと話して、法外な契約を結ぶ業者がいます。実際に契約をした方もいましたし、契約していいかどうかの相談に来られた方もいました。特に高齢者のご家庭には注意が必要です。専門家が積算しますとそんなに高額にはなりません、いつ直しに来てもらえるかわからない状況で契約に依りてしまい高額な請求を受けております。皆様お気を付けください。

本日は職業奉仕卓話です。私自身本年度は職業奉仕委員長を仰せつかっております。本年度は職業奉仕委員会として予算も使わせていただきましたし、井田充夫プログラム委員長にはたくさんの職業奉仕卓話を実施していただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

私は土浦工業高校の機械科を卒業しました。小さいころから模型を作ったり粘土細工をしたり絵をかいたりが好きでした。当時プラモデルが流行っていましたが、私は端材を集めて水車小屋を作ったり田舎風の茅葺の家を作ったりしておりました。手先が器用だねとよく褒められておりました。機械科では決まったものを決まった通りに作るイメージが当時の私にはありました。今はそんなことはありませんが、建築は絵をおこしてつくることがいいなと子供心に思っておりました。大学では建築科を専攻することができました。ただし大学入学当時は学園紛争の真っただ中であり、ほとんど授業ができませんでした。ただし私の大学には当時最新型の振動台がありました。それは地震動を発生する鉄板です。また、ちょうど私の学生時代に霞ヶ関の超高層ビルが建築されました。この機械で超高層ビルの揺れが実際に実験できました。私は構造の研究室に在籍しておりましたので、授業はなくとも実験はできました。

昼間は授業がありませんでしたので、東京タワーの下のレンタカー屋さんでアルバイトをして、夜は建築のデザインの勉強をするためにデザインスクールに通っておりました。たまたまデザインスクールに講師で来ておりました設計事務所の先生の所に大学を卒業して就職いたしました。場所は東京の三番町というところでして、三番町には大妻女子大学があります。この大妻女子大学のテニスコートの反対側に事務所がありました。私も大学時代にテニスをしておりましたので、コーチを引き受けたりもしておりました。非常に楽しい環境でしたが給料は少なかったです。2万円ちょっとで、女房よりも少なかったのを覚えております。もちろんボーナスも出ません





## 職業奉仕卓話②



職業奉仕卓話をする増山栄会員

### 職業奉仕卓話（続き）

増山 栄会員

でした。そのくせ夜中まで働かされました。まさに丁稚奉公のような仕事を7年間続けました。

独立するきっかけは流通革命です。地元ではスーパーマーケットの第1号店が昭和45年ごろにできたと思います。これを皮切りにスーパーマーケットスタイルが食品業界に起きてまいりました。スーパーマーケットスタイルの店舗が増えますと、その町の小売店舗が衰退します。そのため商店主の方が自分もスーパーマーケットをやろうという発想になってまいりました。そのような発想の元、地域の雑貨屋さんや魚屋さんや乾物屋さんや八百屋さんなどを集めてスーパーマーケットスタイルを作る方がおりました。

たまたまその方と知り合う機会がありました。それ以降一緒に商店主の方々とお会いする機会に恵まれ、仕事の依頼が増えてまいりました。第1号は昭和53年に東京で勤めている事務所で受注しました。受注した仕事は常駐管理が必要でした。毎日現場に詰めて仕事の流れや進捗や仕上げを確認しました。毎日東京から通うのは困難になり独立いたしました。

しばらくは流通関係の仕事が多くなりました。大型店舗では地元のホームセンターさんの仕事をさせていただきました。茨城県の近郊でいくつかの仕事をいただきました。バブル崩壊まではホームセンターなどの仕事を中心でしたが、バブル崩壊後は少なくなりました。

私の次の転機は平成12年、吉岡昭文パストガバナーがガバナーをお引き受けした年です。その年の6月に母体である弟の経営している会社が不景気の影響で倒産いたしました。そのため吉岡パストガバナーにご辞退申し上げましたが、引き止められてロータリー活動を続けることができました。

また悪いことは続くもので私が経営に参加していた社会福祉法人でも、平成3年に開設した高齢者施設で労働争議が勃発いたしまして崩壊寸前になってしまいました。社会福祉法人ですので国から補助金をいただいて運営している組織ですので行政から責任を取らされました。どういう責任かと申しますと、責任者つまり理事長を引き受けなさいというものでした。社会福祉法人は借金を残して解散しますと、理事には国に借金を返済する義務が生じます。その当時は相当借金もある状態でした。入所者も満床でしたし、職員も10数名は残って来ていたのでなんとか再起ができるかなと思いお引き受けいたしました。理事長に就任してからは労働争議のプロの方と毎週のように団交しました。いろいろなお金も要求されましたが半年ほどしてなんとか解決を凶れました。それから9年ほど理事長を引き受けて一昨年の役員改選で退任いたしました。私が理事長を引き受けている間に施設の拡張などにも取り組みましたので法人としては安定して経営ができる状況になっております。そのようなことをしてまいりましたので、借金は増えて仕事が少なくなる時期が何年間か続きました。ただしそのような経験からたくさんの方に助けられて仕事も徐々に増えてきて、現在の私の仕事は7割以上が社会福祉法人さんからの仕事です。老人ホームですとか保育所ですとか障害者の施設などです。これが近県辺りまで仕事をさせていただいております。

時間がかかなり超過しましたので、この続きは次回にさせていただきたいと思います。おかげさまで現在は順調に仕事をさせていただいております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



## 4月14日 会場スナップ①



前回の理事会に引き続き今回の臨時理事会におきましても退会者の承認がございました。改めて今回の震災が自分の身近の方々にも多大な影響を及ぼしていることに気づかされます。1日でも早く復興され、またつくば学園RCにお戻りになれる日を心よりお待ちしております。







## 4月14日 会場スナップ②



下記の宮川健治会員の報告にもありますように、1995年度の米山奨学生の邱（キュウ）さんよりお見舞いのご連絡がございました。上野修会員からのお話もありましたように、米山奨学生は受けた恩をお返しすることを常に考えているそうです。邱さん、ありがとうございます。



左は先週お休みだった大野治夫会員と岡添紘樹会員に奥様誕生日祝いをお渡しした写真です。大野治夫会員からは現金がいいんだけどなーとの声が聞こえましたが、あくまで奥様への誕生日祝いであることをお忘れにならないようお願いいたします。



邱さんの近況を報告する  
宮川健治会員

### 1995年米山奨学生の邱（キュウ）さんの

#### 近況報告をする宮川健治会員

1995年に筑波大学に留学していた台湾出身の米山奨学生の邱さんから近況報告が届きました。彼女はその当時つくば学園RCがお世話をしておりました。筑波大学を卒業した後世界有数の海運会社であるエバーグリーンに就職しまして、現在係長として世界を飛び回っております。

邱さんは今回の東日本大震災を大変心配されております。台湾も地震が多発しますし原発も多いですので日本の状況がわが身のように気になるそうです。正式な統計ではありませんが、今回の震災に関して台湾からの義援金は130億円に達しているそうです。総人口で割りますと1人あたり2千円程になります。

邱さんから100万円日本赤十字社に寄付しましたとの連絡がございました。それと同時につくば学園RCの皆様へのお見舞いのご連絡をいただきました。以上でございます。



# 4月14日ニコニコBOX

飯田 正行	欠席して、月遅れの誕生祝いとなりましたが、ありがとうございました。 55歳、ゴーゴーの年で震災に負けず、がんばります。 がんばろう！日本。
井田 充夫	妻の誕生祝いありがとうございます。昨日、食事会を行い、後半の人生もしっかり面倒を見てもらえるよう、お願いしておきました。
須藤 宏達	皆様の温かい、お心遣いを頂き、入会することが出来ました。 これからも宜しくお願い致します。
中山 正巳	がんばろう 日本。 想定外にもめげず頑張れ正巳。 宜しくお願いします。
前島 正基	結婚20周年を迎えることが出来ました。 銀婚式をめざします。 がんばろう日本！
増山 栄	頑張れ 日本、茨城、つくば学園RC。 本日は拙い卓話を御静聴ありがとうございました。
宮川 健治	1995年、当RCが世話をした、台湾出身の米山奨学生の邱(キュウ)さんの近況報告をいたします。 彼女が今台湾にある、世界有数の海運会社エバーグリーンで、係長として世界を飛び回っています。 今回の日本の震災につて、つくば学園RCのメンバーの皆様にお見舞い申し上げると共に、日本赤十字社に日本円：100万円を寄付したことをご報告いたします。

4月21日の例会より、東日本大震災における個人義援金の受付を開始したいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

今回のニコニコBOXの累計報告から25周年記念事業の寄付金を除きました。そのため金額は少なくなりますがご了承ください。

本日の合計	¥40,000-
本年度累計	¥1340,000-

## 出席率報告 4月14日(木) 例会

# 出席率72%以上 無届欠席ゼロを目指して

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	メイク・ゲスト	出席率
65名	49名	16名	3名	2名	0名	77.77%

## プログラム予告 4月 ローター雑誌月間



4月21日 招待卓話  
筑波銀行 総合企画部 経済調査室長「熊坂敏彦氏」  
「茨城の新産業について」  
会員誕生祝

4月28日 職業奉仕報告卓話 「石川英昭会員」



### 4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ホームページもご覧下さい  
<http://www.46gama.com/>

### 編集後記

(クラブ会報委員長：鯨井)

●4月12日から16日にかけて私どもの業界紙の海外視察研修でインドを訪問して参りました。ここ数年中国と同じく10%近くの経済成長率を誇るインドを一度見てみたいと考えておりましたので、震災のさ中ではありますがインドを訪問して参りました。

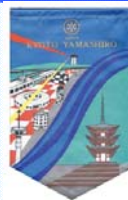
その感想は不思議の国の一言です。人口は現在12億人強だそうです。潜在パワーを物凄く感じますが、それをまだまだ生かし切れていないというのが印象です。富裕層はものすごくリッチで、日本の孫正義さんよりもお金持ちの方がたくさんいらっしゃいます。逆に貧しい方が10億人を超えていそうな印象で、ミドル層の方々が徐々に増えてきている状況です。

政治的な汚職が頻発し、上層部では私腹を肥やす役人が多数存在するようです。これがインフラ整備にあてられたら今まで以上の経済成長率を達成できるのは火を見るより明らかに感じられました。停電は日常茶飯事です。

インドの方は親日家の方が多いです。今回もインドにおける財閥のトップの方とお会いしましたが、日本企業の特区を作ることを目指して活動されておりました。車両販売台数もスズキが約半数を占め、アッパー層の方々のテレビはソニーが大半だそうです。

日本ではTPPへの参加が議論されております。インドや中国の発展を目の当たりにすると、日本のグローバル化の必要性を改めて感じさせられます。

例会日 木曜日 12:30～13:30  
例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」  
つくば市吾妻1丁目1364-1



### 友好クラブ

京都山城ロータリークラブ  
(第2650地区)



### つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email: [gakuenrc@46gama.com](mailto:gakuenrc@46gama.com)